#### 國學院大學学術情報リポジトリ

〔講演〕日本文化理解教育が学校教育にもたらす無限の可能性

| メタデータ | 言語: Japanese                        |
|-------|-------------------------------------|
|       | 出版者:                                |
|       | 公開日: 2024-04-11                     |
|       | キーワード (Ja):                         |
|       | キーワード (En):                         |
|       | 作成者: 永添, 祥多                         |
|       | メールアドレス:                            |
|       | 所属:                                 |
| URL   | https://doi.org/10.57529/0002000281 |

# 國學院大學人間開発学会第十五回大会(令和五年十一月十一日、於國學院大學たまプラーザキャンパス)

# 日本文化理解教育が学校教育にもたらす無限の可能性

近畿大学産業理工学部 教授 永添 祥多

#### はじめに

す。國學院大學人間開発学会の賛助会員にしていただきましたいかにして学校現場で教えていくかを課題としています。という言い方もありますし、私が所属している「和文化教育学という言い方もありますし、私が所属している「和文化教育学お聞きになられる先生方が多いと思います。「日本文化教育学演題にある「日本文化理解教育」という言葉は、多分初めて演題にある「日本文化理解教育」という言葉は、多分初めて

本史の教員をしておりました。

業生であり、在学当時、本日 の会場であるたまプラーザ の会場であるたまプラーザ のみでした。ただ私は、八王 子キャンパスの方で体育の授 子キャンパスの方で体育の授

んでした。

出身であったため、大分県および山口県において県立高校の日私は史学科を出た後、母親は大分の湯布院出身、父親は山口石の研究ではたいへんな権威の先生でいらっしゃいました。私は文学部史学科日本史学専攻の卒業生です。指導教員は宮

をめぐって―」は、『長州閥の教育戦略―近代日本の進学教育 学研究科といっても、 を過ぎてから大学の教員になりました。 ました。学位は「教育学」で取りました。 の黎明―』(九州大学出版会、 る進学教育の形成に関する研究-の接続について研究いたしました。博士論文「近代日本におけ キュレーション (articulation)、特に中等教育から高等教育へ 士後期課程は四年行き、六年で博士の学位を取りました。 大学院の教育学研究科に入りまして、博士前期課程が二年、 そこからもう一回勉強したいということで、 教育史が専門です。 平成十八年)として出版いたし -山口高等中学校予備門五学校 だから私は、 明治時代のアーティ 今度は九州大学

ころが近畿大学の場合は、 は支持されているのだと思います。 学的なもので名を挙げておりますので、 系学部が多くて文系学部のほうが少ない。 るのですが、 ぜ 学は令和四年に情報学部を設置 名になり、 本大学も現在はたくさん学部を設置していますが、 院大學もそうであるように、文系から派生したものが多い。 日本法律学校」であり、 〈講究所」に由来し、 近畿大学がそんなに志願者を集めるのかということを聞 -連続で志願者が日本一、十九万人ぐらい集めております。 **遠いされる方が多いのですが、そうではありません。** 在は近畿大学産業理工学部に勤めています。 最近はウナギも養殖に成功しています。そういう実 よく分かりません。 源流を同じくしている面があります。 國學院大學とは、 私立の総合大学にしては珍しく、 して、 日本の私立総合大学は、 全十四学部あります。 特に西日本の高校生に 経営母体であっ 「近大マグロ」 大阪にあると もともとは 近畿 た が 威 か ح 皇 學 な 理 有  $\mathbf{H}$ n 八 大

で日本史を教えています。 業理工学部で教職課程の教員をしております。 ておりますが、 つて石炭産業で栄えた町です。 やすく言えば、 番 |物理工学部は和 大阪本部から遠 大阪に所在しているのは近畿大学の本部で、 塚といえば旧 自民党副総裁の麻生太郎さんの 片道大体 いの 筑豊炭田 歌山にあります。 が産業理工学部で福岡県の飯塚市です。 自宅のある下関から高速道路 時間十分くらい で知られ 私はそこに所在する近畿大学産 工学部は東広島にあ ていますが、 かかります。 また、 出 マ もっと分かり 、グロ 身地です。 で有名な 般教養 で通 か

教員になってから非常に役立っていると思います。その時

高等学校教員を十数

年

蕳

経験

しましたの

それ

が

教職課

程

工業、 取って、毎年四人程度、多い年で七、八人は教員になってい 出しておりませんが、 体本学部は二千人の学生がおり、 りますが、 いしたりするのは頼みやすいのです。特に本学部は情 人脈がありまして、 さて、 商業という理 『長州閥の教育戦略』 これらの科目の教員は非常に足りない状況です。 「系科目を中心に高校の教員免許を出して 私立高等学校の教員に本学部の学 毎年四十人ぐらいが の要旨は、 小さな学部で中学校の免許は 次の如くです。 高校の教員 報 生をお (免許) 理 、ます。 大 お

学校)→旧制中学校→旧制高等学校→帝国大学というルートの れが山口です。 を創って帝国大学に進学させていたところがあったのです。 進学階梯が完成したと言われていますが、 三十年代の終わりから四十年代にかけて、 ら三十年代にかけて、 日 本の 教育史学界における定説では、 全く別ルートで、 バイパスのような学校 日 尋常小学校 実は明治二十年代か 露戦争以 (高等小 明 そ 治

うい たら、 たのです。 をしていたの 実は山口から帝国大学に入るために別ル いに山口が多い。 すが―を見ていたら、 ―当時は成績 べがその ったことを明らかにしたわけです。 がこのことに気付い 何のことはない、 その バ イ か、 ルー パ 順に並べられ、 その スルートで帝国大学に進学していたのか。 なぜ山口が多いのだろうといろ トはどうしてできたの やけに山口出身者が多い。 教育成果はどのようなもので、 山口県民が特に たのは、 名前と本籍が ある時、 頭 1 が良い か、 ŀ 帝国大学の卒業生名 の学校を創って 記されて どのような授業 東京の次ぐら 0) いろ調べてみ ではなく、 どういう いるので そ

### 日本文化理解教育とは何か

本日の話は伝統・文化の教育、日本文化理解教育の目的と可本といってです。第一に、日本文化理解教育、伝統・文化教育における副次的に統・文化を理解教育、伝統・文化教育を行うことによって、この日本文化理解教育、伝統・文化教育に関する先生方や小・中学生、つま能性についてです。第一に、日本文化理解教育とは何であるか。 な、その他の波及部分もあるということをお話します。 本日の話は伝統・文化の教育、日本文化理解教育の目的と可本日の話は伝統・文化の教育、日本文化理解教育の目的と可

ムの名前からスタートしました。本文化理解教育プログラム」というものを創り、そのプログラれた中村哲先生―現在の和文化教育学会会長―が同大学に「日もともとこの言葉は、約二十年前、当時兵庫教育大学におら

で使っているのは多分、私だけだと思います。いうものを設けておりますが、「日本文化理解教育」を書籍名他には、博報堂が博報賞の中に「日本文化理解教育部門」と

や文化の具体的内容」について、東京都と兵庫県の取り組み事次に、日本文化理解教育において対象となる「我が国の伝統

育』風間書房、平成二十八年)。教育』風間書房、平成二十一年、同『日本文化発信力育成の教例から整理しておきます(永添祥多『高等学校の日本文化理解

本文化というのは古い伝統・文化だけではなく、現代の文化も本文化というのは古い伝統・文化教育の授業をやっております。で非常に熱心にこの伝統・文化教育の授業をやっております。
私が言う日本文化団解教育もそうですが、東京都が示した日代の日本文化」も含めています。
はが、「伝統的な日本文化」だけではなく、漫画やアニメなど「現が、「伝統的な日本文化」だけではなく、漫画やアニメなど「現が、「伝統的な日本文化」が、東京都教育委員会主導まず東京都は、約二十年近く前から、東京都教育委員会主導

め、それを兵庫県が詳細化する形で創ったからだと思います。 、それを兵庫県ですが、兵庫県教育委員会も非常に日本文化理解 大に兵庫県ですが、兵庫県教育委員会も非常に日本文化理解 大きなでにおける地理歴史科の中の「学校設定科目」としています。『学校設定科目 日本の文化』(兵庫教育委員会、平成十九年)というテキストに示された「日本の文化」の内容は、大きく「伝統的な日本文化」と「現代の日本文化ー Japan Now」 な「伝統的な日本文化」と「現代の日本文化ー Japan Now」 ないうことです。

-23-

## が国の伝統や文化の教育に対する学校現場の意識実

我

中学校)の意識実態」について見ていきます。 それでは、「我が国の伝統や文化の教育に対する学校現場(小・

平

成二十

いよ、という事情もあると思います。
うのが入ってきますから、伝統や文化の教育をやる暇なんてなうのが入ってきますから、伝統や文化の教育をやる暇なんてないのでは、逆に後退しているのではないかと思います。とい 変わらないのではないかと思います。とい し訳ないのですが、多分、今同じ調査をしたとしても、あまりし訳ないのですが、多分、今同じ調査をしたとしても、あまり

校の教員・児童・生徒を対象としました。 岡県北東部・人口約七万人)の市内小学校二校、市内中学校一この平成二十一年十月実施の質問紙調査は、福岡県行橋市(福

二百二十六名 徒二百七十名 中 名に回答してもらいました。 やや先生方の数が少ないのですが約五十名、 一学校 有効回答数は、小学校教員 教 員 (教 (二年生百五十八名・三年生百十二名) でした。 (五年生百十四名·六年生百十二名)、 諭 及び 臨 時講 (教諭及び臨時講師) 二十九名 師) 十七名、 子供たちは約五百 小 学校児童 中学校生

生徒に、「郷土科」という授業を行っています。かを学んでいます。現在では、行橋市内小・中学校の全児童・この「郷土科」という行橋市独自の郷土学習で歴史とか文化と学校教育では、小・中学生に「郷土科」を導入しております。なぜこの地域を研究対象としたのかと言いますと、行橋市のなぜこの地域を研究対象としたのかと言いますと、行橋市の

の伝統があり、連歌教育で有名です。また、行橋は、短歌の上の句と下の句を複数人で詠む「連歌」

かったということもあります。わっておりますので、教育委員会を通して質問紙調査をしやすた。さらに私は、行橋市教育委員会の外部評価委員長として加こうしたことから、行橋を対象として質問紙調査を行いまし

#### 教員の意識実態

という結果が出ました。
うち、大体約八割は伝統や文化の教育に関心を有しておられるに関する関心の有無」を訊ねました。小・中学校の先生全体のに関する関心の有無」を訊ねました。小・中学校の先生全体の教育を窺うための先生方に対する質問として、「伝統や文化の教育を窺うための先生方に対する教育の意識実態」まず「我が国の伝統や文化の教育に対する教員の意識実態」

伝統・文化の教育と捉えているということになります。 歴史」(十五名)でしたが、⑤ 活文化」(三十名)、 まりおりません。小・中学校教員の殆どは、 したところ(複数回答可)、①「地域文化」(三十二名)、 先生方に日本文化の中で「重視すべき内容」 ③「伝統・文化」(二十八名)、 「現代の日本文化」 日本文化の教育を は 何かをお (五名) 4 「日本の 2 はあ 訊

先生方は、まだそんなに人数は少ない。うのですが、意識的にそういう単元を設けたりして行っている過ぎませんでした。実際には何らかの形で行っておられると思員の中で意識的に伝統や文化の教育を行っている教員は四割に以る」が四○%、「行っていない」が六○%で、小・中学校教いる」が四○%、「行っていない」が六○%で、小・中学校教

会とか、 総合学習が最も多く、 「道徳\_ 数回答可)は、 行っておられるのか。「伝統や文化に関する教育の実践形態 では、先生方は、 が一名、 そういう教科で行っている場合もあります 「教科の授業」が八名、「総合学習」 「その他」が一名でした。 伝統や文化に関する教育をどのような形で 一番扱いやすいと言えます。 音楽とか図工とか社 が十 が ゃ



#### 児童・生徒の意識実態

徒の意識実態」を見ていきます。 ここからは、「我が国の伝統や文化の教育に対する児童・生

ほぼ同じような結果が出ております。 初等・中等教育の児童・生徒を対象とするアンケート調査でも、という国に生まれてよかったと思うか」という質問をしました。という国に生まれてよかったと思うか」という質問をしました。という国に生まれてよかったと思うか」という質問をしました。まず、「我が国への児童・生徒の帰属意識」について確認すまず、「我が国への児童・生徒の帰属意識」について確認す

日本という国に生まれて良かったと考えているようです。日本という国に生まれて良かったと考えているようです。と回答し、ほぼ同じような結果が出ておりますが、戦争でおかったと思っている」と回答し、ほぼ同じような結果が出ております。そのてよかったと思っている」と回答し、ほぼ同じような結果が出ております。そのてよかったと思っているのは非常に心強い。もちろん問題はいてよかったと思っているのは非常に心強い。もちろん問題はいるが多の最中にあり、言論の自由が無いという所に比べれば、や紛争の最中にあり、言論の自由が無いという所に比べれば、神のの最中にあり、言論の自由が無いという所に比べれば、

い国だから)」。二番目は「豊かな国だから」。豊かというのは、ますと、やはり一番目は圧倒的に「平和な国だから(戦争のな由記述で答えてもらいました。その中で回答数が多い順に挙げ「我が国に生まれて良かったと考える理由」については、自

さらに、「我が国の文化を大切にし、

将来も残していくべき

ております。 然環境に恵まれているから」という答えが続きます。 兀 生も日本の文化については関心を持っているようです。そして、 が **[番目には「科学(工業)が発展しているから」、** ;あるから」。これは少し意外な感じがしましたが、小・中学 !答には詳しく書いていませんが、これは多分、豊かというの 心の豊かさよりも、 三番目に多かったのが むしろ物質的な豊かさのことだと思 「日本の文化は多彩で伝統 五番目 には 自

ます。 本という国に生まれてよかった」とほぼ同じぐらいの割合であ れるものだと思うか」を小・中学生に訊きました。 る九割以上が、「日本文化は世界に誇れるもの」 続 いて、 これも非常に心強い感じがいたします。 似たような質問ですが、「我が国の文化は世 だと捉えてい やはり、 世界に誇 日

だと思うか」という質問についても、 という質問に対しては、 という質問です。 えています。当時の小・中学生は現在二十代、日本の将来を担 ていく年代ですが、 れるべき日本文化を尊重し、将来に継承していくべき」だと捉 次に「我が国の伝統や文化を実際に体験したことがあるか\_ 我が国の伝統や文化に関する勉強に興味、 約五割しか伝統や文化の体験とは自覚していません。 実際には何らかの形で体験しているはずなの かなり心強い感じがします。 小・中学生の六割が伝統や文化の学習 やはり九割以上が、 関心があるか 「誇

> 生の日本文化発信力の育成が課題であることが分かります。 に対しては、あてはまると答えた小・中学生は三割強程度しか おらず、外国人に対する日本文化の発信については、 日本の文化を外国人に日本語で説明できるか」という質問 小: 中学

業で受けているはずなのですが、 るか」という質問に対しては、 な指導学習が必要であるというところだと思い は六割弱しかいませんでした。実際には、歴史や道徳などの捋 学校で我が国の伝統や文化に関する授業を受けたことが あてはまると答えた小・中学生 伝統や文化の計画的 ・ます。 系

と我が国及び我が国の伝統や文化に対する意識との関連 きました。ここに日本文化理解教育の必要性があります。 に関する意識のさらなる向上が期待できると考察することがで の機会を増やすことによって、 いて統計処理をした結果、 以上の設問に対する結果を踏まえ、「伝統や文化の学習経 日本の伝統・文化に関する学習経験 我が国及び我が国の伝統や文化 につ

### 学校現場は何を求めているの

可 謝する気持ち」と「礼儀・マナー」がそれぞれ十一名、「表現力 ます。このアンケートで伝統・文化教育の単元を設けるなどし たと考えているのか」という質問に対する回答結果 て意図的、 伝統や文化の教育に何を求めているのか」を確認したいと思い まず、「教員は伝統や文化の教育でどのような力が育成され ここで調 につい 計画的、 てです。 査対象を教員に戻しますが、 系統的に実践された先生方に質問 これは予め選択肢を設けております。 「学校現場は しました。 (複数回答 段我が国

すから、

概には言えない。五十名弱と五百名弱ですから。

じています。 ことを考えると、

ただ、

これは対象となった人数が

圧倒的に違

ŧ

に興味

関心があると答えており、

教員側の関心が八割である

両者間にやや意識のずれが存在してい

いると感

情意面、 それぞれ二名、 げ が す。 文化を理解させるだけではなくて、そこからさらに発展させて 伴う波及効果があると考えている。そのため私は、 本の文化はこういう素晴らしい文化ですよ、皆さん大事にして えています。 せんでした。 がそれぞれ一名で、「集中力」と「忍耐力」を選んだ方は こういった波及効果があることを広めていきたいと思っていま 11 いる力」 九名、 きなさいよ、ということだけではなくて、そういった教育に さらに自己表現力などが伝統や文化の教育の成果と捉 相手を思いやる心」 つまり、 小学校の先生方は、単に伝統や文化を教えて、 「観察力」と「学習意欲全般に対する波及効果 「協調性」と「人の話を最後まで聴く力」 規範意識や感謝 が七名、 の念、 「物事を最後までやり遂 思いやりとい 伝統 た が 日 ŧ

0

名)、 生は、 はさほど重視していないのに対して、 差が見られるのです。 先述したように、教員が重視すべき内容として挙げていたの な内容に興味・ 指導を受ける児童・ 日本文化」への興味・関心が高い。要するに指導する教員側と の歴史」、 1 はどのような内容を求めているのか」を見るために「どのよう 次は、 地域文化」、②「生活文化」、 3 (5) 「現代の日本文化」(百十八名)、④「伝統・文化 「地域文化」(三十四名)となっていて、 また調査対象を児童・生徒に戻します。 「生活文化」(百二十七名)、②「日本の歴史」(百十九 ⑤「現代の日本文化」でした。ところが、 関心があるか」 生徒の間に伝統や文化 先生方は、 (複数回答可)を訊ねました。 「現代の日本文化」 ③「伝統・文化」、 中学生は、 の内容につ 児児 4 小 むしろ漫 に 童 現代 つい て意識 | (百三 一日本 中学 は 7 徒

> が、 という子どもが中学生になると増えていますので、 学生になったら、ガタッと下がるのです。 に小学生は、 は、 小学生までは、 題がある。 画とかアニメとか、 いうことです。 )歴史学習に対する別の調査においても、 中学校以降の歴史教育に問題があろうと思ってい 中学になるとガタッとこの値が落ちていきますし、 高等学校もそうですが、 圧倒的に 歴史に大変興味を持っている児童が多いのです 「日本の歴史」も結構関心が持たれてい 「現代の日本文化」 「日本の歴史」 やはり覚える内容が多い。 に関心がある。 に興味・ これは歴史教育の間 やはり歴史が嫌 関心が このあたり 、ます。 これ る。 社会科 あると いだ は 中

校で行っていくうえでの課題」を挙げておきます。 以上のことを踏まえ、 番目 が 「教材開発や教材研究といった教材に関する 私がまとめた「伝統や文化 間 題

普通の授業と違い 多くありますので、 ということもあります。 発や施設に関する問題については、「伝統や文化の教育\_ ん。 や「予算確保や校内の施設・ 場合によっては外部の方をお呼びしたり、 特別な教材を作ったりしなければ 予算確保が必要です。 教材開発のみならず、 設備に関する問題」 体験型の 外部に出 です。 11 」では、 けませ 7

です。 けに関する問題」、 二番目が「指導方法に関する問題」 外部指導者確保に関 や する 教育課程上の 問 題 という問 位 置

だの、 内の共通 るに教員自身の問題です。 三番目 特に小学校では大変な状況になっていると思いますが 理 が 解 担 のもとでの .当教員の負担感や多忙感に関する問題」 協力体制構築に関する問 現在、 特に英語だのプログラミング 題 で、 ゃ 要す

とが裏付けられます。き取りした内容からも、こういったような課題があるというこあろうかと思います。これは学校教育現場の先生方から直接聞それに加えて、「また伝統・文化か」と思われるという問題も

## 無限の可能性(一)児童・生徒の変容

能性」に言及しておきます。 最後に、「日本文化理解教育が学校教育にもたらす無限の可

ション能力・人間関係構築能力の向上、集中力や忍耐 学力向上につながった事例) など)、⑤情意面の改善 達成感や成就感の獲得、 テ P 玉 力に対する促進効果 自尊感情の育成、 、ィティの育成、④生活態度の改善(自己表現力・コミュニケー ・郷土に対する帰属意識の育成、 [の伝統や文化に対する理解や尊重の気持ちの育成、 まず(一)「児童・生徒の変容」です。 思いやりの心や感謝の念の育成など)、 (伝統や文化の学習が他の教科学習全般 (豊かな感性の育成、自己肯定感の向上 礼儀・マナーの習得、 が挙げられます。 ③日本人としてのアイデン 具体的には、 規範意識の向上 力 ②我が国 0 (1) 育成 **⑥** 学 我

一義的な成果だと思っております。 育成される。これは、伝統・文化教育や日本文化理解教育の第①では、我が国の伝統や文化に対する理解や尊重の気持ちが

きますが、そういったようなところにも、将来的には寄与する地域社会に若者がいなくなって困るというようなことをよく聞対する帰属意識は九割です。現在、地域おこしとか、あるいは②は、教科によっても分かれますが、小・中学生の我が国に

可能性があるのではないかと思っております。

帰属意識とほぼ同じようなことです。 ③は、日本人としてのアイデンティティの育成ですが、②の

とか、 は最初のうちは戸惑っていても、 校で行った過去の調査では出てきております。 た達成感とか成就感が獲得でき、 しますので、結果的にはその習得につながります。 ですが、 のあたりは確実にできるのではないかと思っています。 につながっているといった児童・生徒の事例も、 力を見つけることができたり、 それから、 勉強が苦手な子でも、 何でも良いのですが、それらを通して、 茶道とか生け花、 礼儀・マナーの習得については、 伝統 日本の伝統芸能でも当然礼儀を重視 あるいは勉強では得られなかっ 文化の実践、 それが結果的には自分の自信 だんだんと慣れてくる。 例えば太鼓や踊 したがっ 自分の新しい 武道はもちろん 私が様々な学 小・中学生 て、 能

ている児童・生徒が伝統・文化の学習をすることによって可能うなものですが、自分は勉強もスポーツも得意ではないと感じれたという事例も見られます。自尊感情と自己肯定感は同じよ信がないということがよく言われますが、これが向上し改善さ生徒は自己肯定感というか、ものすごく自分の能力に対して自⑤の情意面の改善は、豊かな感性の育成、それから今、児童・⑤の情意面の改善は、豊かな感性の育成、それから今、児童・

的には規範意識が向上してくるということです。

がります。 定感が育成されます。思いやりの心や感謝の念の育成にもつな分は人々のために役立っているのだなという自尊感情、自己肯人々、お年寄りの前でそれを発表したりすることによって、自性を見つけたり、うんと褒められたり、あるいは地域社会の

と、 されておりますので、これはもっと詳しく調査する必要があり 組むようになっています。 た児童・生徒たちが、 東広島の学校では、 「一校一和文化教育」に十数年前から力を入れております。 ますが、明らかにつながりがあるのではないかと考えています。 全体で小・中学校の伝統・文化教育に力を入れているのですが、 わけではありません。 教科学習全般の学力向上につながったという事例も複数報告 ⑥の学力に対する促進効果とはどういうことかと言い 伝統・文化教育と国語とか英語などの他の教科は関係ない 伝統文化の学習によって自分に自信を持 さらに、その他の学習にも意欲的に取り 私が調査した東広島市の小・中学校では、 結果的には伝統や文化の学習が、 、ます 他 0

## 無限の可能性(二)教員の資質・能力の向上

文化の学習が、教員のカリキュラムマネジメント能力の向上にがります。不断の教材開発や指導技術の工夫が求められる伝統・い教材を作ったり、カリキュラムマネジメント能力の向上」につなけの結果、①「カリキュラムマネジメント能力の向上」につながります。不断の教材開発や指導技術の工夫が求められる伝統・対の結果、①「カリキュラムマネジメント能力の向上」につながります。表別の音響が、教員の音響です。先生(二)「教員の資質・能力の向上」は、教員の問題です。先生

校の校長先生からかなり報告されております。能力が向上したという成果が、伝統・文化教育を取り入れた学結び付くと考えられます。先生方のカリキュラムマネジメント

ことになります。 関する学習には教科横断的な内容が含まれており、 たようなことが、 携して教育課程を編成することが求められてきます。 体制が構築されていくということが分かります。 またいで教育課程を編成することを契機として、 に一人の教員だけではできないということで、 統・文化の学習というのは教科横断的な内容となります。 また、②「教員間の協働体制の構築」にもつながります。 先生方の資質・ 能力の向上につながるという 教科とか学年を 教員間の協働 伝統や文化に 教科間で連 こういっ

## 無限の可能性(三)学校経営の活性化

て非常に役に立つものがあろうと思っております。(三)「学校経営の活性化」にも寄与します。学校経営におい

の学習の発表は、非常に好まれるものです。できます。地域の住民たち、特にお年寄りには、伝統や文化かうことが挙げられます。伝統や文化の学習を学校の特色ある教育活動として学校教育目標に位置付け、校外にPRすることができる」とまず、①「伝統や文化の学習を自校の特色ある教育活動とします、①「伝統や文化の学習を自校の特色ある教育活動とします。①

の公立学校について、ほぼ全て導入しております。教育委員会教育委員会です。東京都は小・中・高、特別支援学校など都内都道府県単位で行っているのは、東京都教育委員会、兵庫県

ます。 さらに、 書まで作成しております。これは数年前に調査を行いました。 定教科として り入れております。 市です。 0 中の ベルとしては、 その他、 「学校設定科目」として「日本の文化」を取り入れてい こういう所がたいへん力を入れています。 市の単位では、広島県東広島市、それから静岡県島 「日本の文化」というカリキュラムを作り、 埼玉県教育委員会において、高等学校の学校設 東京都が初めて日本文化理解教育の 兵庫県は県立高等学校における地理 実践を取 歴史科 指導 Ħ

が期待できるということです。 動にチャレンジすることによって、 統・文化に関する学習を教育環境、 非常に熱心で、 化教育第十一回全国大会武蔵村山大会を行いました。教育長 は武蔵村山市です。 ば、学校単独で行っている実践報告などは見ることができます。 ターでは、教育課程研究指定校事業の一環として「伝統文化教 して校外にPRすることができるだけではなく、新しい教育活 また、 一も位置づけられておりますから、 東京都も濃淡さがありまして、特に力を入れているの 文部科学省の国立教育政策研究所教育課 本も書いておられるぐらいです。こういった伝 和文化教育学会では平成二十六年度に和文 校内も生き生きとすること 自校の特色ある教育環境と そのホームページを見れ 程 研 究セン

校に招いて指導を仰ぐと共に、その学習成果を地域住民に発表する場合もあります。そこで、地域住民を外部指導者として学か、地域の料理などがあります。家庭科や総合学習で行ったり先生方だけではどうしようもない、教えられない地域の踊りと先生方だけではどうしようしないのは昔からある言葉ですが、ます。「開かれた学校づくり」にもつながる」という面もあり②「「開かれた学校づくり」にもつながる」という面もあり

も非常に役に立つものであるとは思います。したがって、伝統や文化の教育は、学校経営や学校の活性化に「開かれた学校づくり」が実現できるということになります。することによって、伝統や文化の学習を接点として、双方向の

# 無限の可能性(四)学校と地域社会との連携体制の構

うい それゆえ、 は、 て、 が教材であり、それらを伝えている地域住民が指導者である。 なってきます。 物的資源の有効活用が不可欠であり、 伝統や文化に関する学習を行うためには、学校を取り巻く人的 地域社会との連携体制を構築できるという可能性があります。 うことがよく言われますが、伝統や文化を接点として、 より教育成果、 四 いった連携体制の構築にも役立つことになります。 学校の先生方だけでは、 昔から、 「学校と地域社会との連携体制の構築」 伝統や文化の学習は地域との連携をすることによっ 特に小・中学校については地域社会との連携とい 地域社会に継承されてきた伝統や文化そのもの 教育効果が上がる。 なかなか難しいということで、 地域社会の協力が必要と 特に地域文化に関して にもつなが 学校と りま

## 無限の可能性(五)国際理解教育の前進

ない立場ですが、 国に対する文化とか歴史とか、 私は、 最 後は、 国際理 <u>H</u>. 解教 国 玉 介育が [際理 [際理 好教育( 専門では 解とか国際化というの あるいは言語、それに対する深 の前進」 ないため、 という点です。 詳しいことは言え は、 まず自

答が見受けられます。 題を出しております。 している学生が結構い に言っております。 61 論 の試験では、 があ っての国際化なんだよということは、 国際化と日本史学習の関係につい 国際理解教育=異文化理解教育と勘違い 、ます。 すると、 実は、 国際化を誤解しているような解 私が担当してい 常々学生たち る て問う問 「日本史 を

おり、 う連中で、どういう形や理 だけではなくて、 ある が放送されているからではなく、 習指導」、 実は柳沢以外に十数人側用人がいました。中には外様大名とか きました。側用人というとすぐに柳沢吉保 たのですが、 という本を出しました。これは大河ドラマで「どうする家康 H 大学では、 か も綱吉らしいのですが、実は初代側用 0 幕政史、 科目に関連してちょっと変わった教科書を作りました 持っていますが、 私は今、 たのですが、 は、 0 徳 は 卒業論文は、五代将軍徳川綱吉の側用人制度について書 沠 一ヶ月で罷免されたという側用人もいました。 「教育実習」、 和五年四月に 特に元禄、 日 教職科目として「教職論」、 将 私はもともと学部時代に江戸幕政史に取り組んで 軍につい 本史概論とはいっても浅 そこを調べました。このように大学時代は江 十数人の 教養の 享保の時期に取り組みましたので、 て詳しく話しております。 「教職実践演習」、 徳川 側用人がいた。その側用人がどう 「日本史概論」も担当しており、 由で採用されたの 将軍 出版と重なったのは偶然だっ の治世と人物像』 く広く通 人の牧野成貞や柳沢吉保 「教育行政学」、 が思い浮かびますが それから、 かが分かりにく す Ó ではなく (風間 ゼミを受 「教育実 書房

徳川将軍の政治については概説書とか専門書が数多くありま

すが、 ればい 号が読めないのです。 す。 校生が読んでも分かるような本として書いています。 て、 ます。別に専門 科目ですから。 がおります。 地名には全部読み仮名を付けております。 りありません。 史的意義と各将 軍徳川家康に始まる徳川歴代将軍たち十五代の治世の のも何ですが、 . こ の 人物、 殆どカラー 「徳川 日 エピ まして、 本の歴史に興味を持ってくれればい 家を養成するわけではありませんので。 私は、 この本は、 ンリー かなりユニークな、 「将軍の治世と人物像」というのは、 軍 図版を使っております。  $\dot{o}$ 人物像につい ドについても結構出 史学科の学生ではありませんの 弘化とか嘉永とか、 日本史概論では歴史を好きになってくれ かなり大判で、 て並列 大学生向けというよりも 的に書い ておりますが また、 慶長も読めない 今の学生たちは、 結構分厚い 元号、 たも いと思って 自 で、 本なので 概要や歴 分で言う ú 初 教養 あま 代将 元

#### おわりに

それをもとに国際理解教育の中に日本文化理解教育を位置 らす無限 るということをしました。 東京・表参道ヒル 育にまで発展していくことが期待できるということです。 諸民族との は、我が国 少し脱線しましたが、 が書いた先述の『日本文化発信力育成の教育』という本 の可能性」 共生 の伝統や文化の教育が、 の態度を育成することを目標とする国 バズの の最後に挙げ すぐそばにあ 「日本文化理解教育が学校教育にもた 結局、 自 た る神宮前 結果的には世界の 分の 国 国 際 (n) 理 小学校を調査して 解 伝統や文化を理解 教 育の 際理 前進 諸 玉 家 は ع

る必要があるのではないかということを述べています。国際理解教育の前提、その中心に日本文化理解教育を位置付け文化理解教育みたいになってしまいがちですが、そうではなく、ないということを書いております。国際理解教育というと、異することと、世界の諸民族との文化に対する理解は無関係では

我が国の伝統や文化に対する理解という基盤に立って、

す。 つまり、 は、 供たちを育成したい。それが、この国際理解教育の前進にも とを本当に理解してくれていない、そういう地域や国もありま 今後はインバウンドでどんどん外国の方が日本に来られると思 する波及効果が得られるだけではなくて、コロナ禍も終わり、 もたちが学んで、その副次的効果として情意面などをはじめと 発信力育成の教育です。つまり、単に日本の伝統や文化を子ど といえると思います。今、特に私が考えているのは、 理解教育にまで発展していくと期待できるのです。 の諸国家・諸民族との共生の態度を育成することを目指す国際 玉 ながっていくのではないかと思っています。 いう国の、もちろん歴史的にはあやまちも犯してきましたけれ います。さらに、残念ながら世界の中には、まだまだ日本のこ 「の伝統や文化の理解・尊重にまでつなげていくことができる。 したがって、このような観点からすれば、日本文化理解教育 したがって、日本のことをもっと本当に理解して、 国際理解教育の中に新しい分野を拓く可能性を有している しかし、良さを発信できる、日本の文化を発信できる子 我が国の伝統や文化に関する教育が、結果的には世界 日本文化 日本と

私の話は以上です。ありがとうございました。



#### [智影応答]

# 司会:藤田大誠(國學院大學人間開発学部健康体育学科教授

學院大學人間開発学部長)と二人 がりを持つ教育なのであろうと受け止めた次第です。 は学校全体、 用と可能性をお話いただきました。児童・生徒、 学校の伝統・文化教育の実態を調査されてきた中で、アンケー 式で行っております。 当しており、 ト調査をもとに、 人間開発学部のコア科目 永添先生、 オンライン授業(オンデマンド型授業)という形 地域社会、そして国際関係というところまでの広 ありがとうございました。私も太田直之先生 続いて質疑応答に移ります。 先生のおっしゃる「日本文化理解教育」の効 今回の講演では、 (必修科目)「日本の伝統文化」 (オムニバス)で國學院大學 永添先生がさまざまな 教員、 さらに を担 ( 國

# 前田麦穂(國學院大學人間開発学部初等教育学科助教)

では、 実際に行橋市で「郷土科」を始めていった後に、例えば、この をたいへん興味深く拝聴しました。今手元で調べたら、 あるとか、 データの すごいと思って見ていました。 われるようになり、 **-講演ありがとうございました。行橋市の調査結果のところ** 平成二十五年度から「郷土科」を全市の 年度ということで、「郷土科」を始める前だと思います。 郷 中にあるような児童・生徒の文化の発信力が伸びたで 土科」を始めたことによる児童・ あるいは、 現在まで小・中続けているということで、 関心が持つ児童・生徒が増えたというよ 先生が取られたデータが平成 生徒の変容が分か 小・中学校で行 行橋市

いうのが一点目の質問です。る追跡調査などは、もしご存じでしたら教えていただきたいと

児童・生徒に関心を持ってもらうのはなかなか難しいタイプの 地域文化に関心を持たせるということについて、 まに調査されているということで、他の事例でも結構ですので 組みをしたのかということを、 ではないかと思います。 土科」として、 文化なのかと思って見ておりました。その一方で、行橋市が 徒がどのような内容に興味・関心があるかというところです。 ていくというのは、 ことがありましたら教えてください。 んでいく中で、児童・生徒の関心を引くようにプロ 地域文化 二点目の質問 が結構少ないという点が、 まさに「地域文化」のことを学校教育で取り組 は、 かなり不利な状況からのスタートだったの 同じく行橋市 そういう点について、 先生は他の小・中学校もさまざ の調査結果のうち、 教員の思いとは裏腹に、 どのような取り 何かご存じ グラムを作 童

二十一年の後に市全域で「郷土科」を始めるようになりました。 入れたのは調査した後の平成二十五年になります。 永添 しゃるように、 ですから、 て先進的、モデル校的に少し始めていた段階でした。先生がお 最初 私が調査しているときは、 の御質問です 行橋市が全域の小・中学校で「郷 が、 実は行橋市は、 「郷土科」 私が調査した平成 は 蔛 部にお を取

来、九州当番のため、九州のある大学で開催する予定だったん二十四日に開催予定の和文化教育学会第二十回全国大会が本思っていますが、まだできていません。実は、令和六年二月二点目の御質問については、今後、私も追跡調査をしたいと

ます。 ろはそのぐらいしか分かりません。 具体的な取り組みが進められていると思うのですが、今のとこ 行橋市が全域で「郷土科」を取り入れたことによって、 た調査結果は全体的に古いデータですので、申し訳ないです。 を御覧になれば分かるのではないかと思います。今回お示しし 行橋中学校の教頭先生から御発表いただけるようになっており 思 育学会のホームページから入れば、シンポジウムが見られると することになりました。オンラインでやりますから、 の実践の取り組みについては、 ン九州大会」となり、なぜか私が九州地区だから実行委員長を います。現時点での行橋市の伝統や文化、「郷土科」 そのシンポジウムは当然、私が司会をしますので、それ 現地開催ができなくなってしまったため、 このシンポジウムに登壇される | オンライ 和文化教 さらに の学習

前田 どうもありがとうございます。

司 0 11 **公** う点についてはいかがでしょうか。 関心が低いが、 永添先生、 それに対してどういう取り組みがあるのかと 質問 の中にあった、 生徒 ・児童は 地域文化

永添 ないみたいです。 ろが「郷土科」を始める原因となったのかもしれません。児童 教育長も小・中学校も言っておられましたので、そういうとこ はないですか。行橋だけの現象ではないと思います。 一徒たちは、 児童・生徒が「地域文化」への関心が低いというのは、 あまり自分たちの地域について知りたいと思って これは他市部でも似たような現象があるので

> 司会 教育もより活発にしやすくなるということでしょうか 「郷土科」のように制度化をしていくと、「地域文化」 0)

永添 結果が出てくればもう少し分かると思います。 令和六年には、 同じような調査をしますので、 その調査

司会 ありがとうございました。

### 青柳秀幸 (國學院大學人間開発学部健康体育学科助手

五年四月から健康体育学科に着任しております。 たいへん貴重な御講演、 ありがとうございました。 私は令和

私は、

りとか、まさに同じような問題点があると伺い、 されたオリンピック・パラリンピック教育の在り方や課題につ 深く拝聴しました。 いて、学位論文を作成しておりまして、 オリンピック東京二〇二〇大会の開催に当たって推進 学校の多忙感であった たいへん興味

すれ 育が、この日本文化理解教育にはおありなのか、 か見方が出てきます。 でナショナリズムを助長するのではないかというような批判と 付けになるのではないかとか、 いものであると思う一方で、 そこで大きく二点の質問がございます。 ればどんなものなのか。 それゆえ、 これが一点目です。 ある意味、 日本のことを良いと捉えること そういった視点が含まれた教 方的な価値観の押し こういった教育が良 また、 あると

二点目につい お声を拾っていただいて、こういった教育を指導する国の行 てです。 先生方のように、 こうい

示をいただきたいです。宜しくお願いいたします。コンソーシアムやシステム、協力関係などがあれば、ぜひ御教つないで議論し、実際に現場に落としていこうとするような、いく必要があると思うのですが、研究職と現場、または行政を校教育現場の先生方と問題意識を共有しながら連携、協働して政などと協働して、やがては実際のこの教育の担い手となる学政などと協働して、やがては実際のこの教育の担い手となる学

永添 第一点目は確かに先生がおっしゃるとおりです。やはり ・ は目す、毎年開催されている和文化教育学会の全国大会で ・ はなくて、常に世界に目を向けつつも、日本と世界の相対化、 ではなくて、常に世界に目を向けつつも、日本と世界の相対化、 ではなくて、常に世界に目を向けつつも、日本と世界の相対化、 あるいは日本文化の良さ、世界や諸外国の文化の良さを比較で 見るような形で、その前提として、この教育があります。ですから、 見るような形で、その前提として、この教育がありです。やはり ・ は、毎年開催されている和文化教育学会の全国大会で

し、あまり聞いたことはありません。今後の私自身の課題です。それ以上の協働については、今のところは私はした覚えもない多くの学校現場の先生方にも発表していただいているのですが、は、シンポジウムや研究発表で、大学教員だけではなく、必ず二点目は、毎年開催されている和文化教育学会の全国大会で

いると思いますので、大切な取り組みですね。視点がありませんでした。オンラインで参加機会も多様化して青柳 学校現場の先生方に学会などで発表していただくという

永添どうもありがとうございます。

司会他にいかがでしょうか。

(國學院大學人間開発学部健康体育学科准教授

備前

嘉文

が、 新たな考え方とどう融合していくのかというのは、 撲の土俵に女性は上がれないとか、そういった伝統に対して、 もLGBTQの理解であるとか、そういう事象は今までの日本 どん日本の中でも進んでいます。 ば、ダイバーシティーや多様性とか、 その中で先生は、 たところでどこまで折り合いをつけているのかというところ れとも、どんどん変わり続けていくものなのかという、そういっ しても、例えば、 す。こういった伝統文化の教育を行う場合、 らどのように日本の文化が進んでいくのかと考えるところで をどう考えていかれるのか。 の文化には無かったものだったのではないかと思います。 てお話をされていたのですが、グローバル化が進む中で、 にすごく興味があって、とても面白く聴かせていただきました。 貴重な御講演をありがとうございました。 もし見解があれば教えていただければと思います。 伝統を過去の遺産として考えて話すのか、そ 現代の日本文化と伝統的な日本文化とを分け 例えば、スポーツで言えば、 例えば、 合理化ということがどん 性別の 私も、 各教員や各機関に 問題について 私もこれか 伝統や文化

そういう視点で捉えております。ですから当然、昔の伝統芸能く、常に文化というのは発展的に、変容を遂げていくのだと、永添 これについては、やはり昔のことに固執するべきではな

今後もそう在るべきだと思っています。して来ている。そして、現代まで受け継がれてきてますから、というのではなく、当然、日本の文化というのは発展して変容本の伝統・文化と言っても、昔のことばかりをそのまま教えるいと発展しませんし、そのままというわけではありません。日なども、例えば、歌舞伎もどんどん変わっています。そうでななども、例えば、歌舞伎もどんどん変わっています。そうでな

備前 ありがとうございました

司会 あと、お一方ぐらい。いかがでしょうか

# 夏秋英房(國學院大學人間開発学部子ども支援学科教授)

なっていくことが見えているときに、日本文化理解教育はどう方たちの存在なしでは日本社会が生きていけないような状態に日本社会はこれから、どんどん外国人が入って来て、外国のも展望のある御講演をいただいたと思います。 とて非常に大事な「日本文化理解教育」であるということで、とて非常に大事な「日本文化理解教育」であるということで、とて非常に大事な「日本文化理解教育」であるということで、とておいる人では、

地域文化を伝える、あるいは日本文化を伝えるということの意そういう異質性、異質な背景を持った児童・生徒たちに対してことは、なかなか難しい状態になるのではないか。これは日本三割ぐらい。さらに外国人も入ってきて、地域に根ざすという三割だらい。さらに外国人も入ってきて、地域に根ざすという

った展望を持っていらっしゃるのか。

と思います。よろしくお願いします。 味と方向について、どうお考えなのかというところを伺いたい

み添 九州においても、自動車関連産業が積極的に外国人を受

をういう児童・生徒に対して、日本に来たんだからそれに従えとか、郷に入っては郷に従えとか、そういう方針ではないと思います。外国出身の児童・生徒は日本語の学習から始める場思います。外国出身の児童・生徒は日本語の学習から始める場まが今暮らしている日本という国はこういう国で、日本語といちが今暮らしている日本という国はこういう国で、日本語というのはこういう言葉であるということを伝える必要があります。 文化的な基盤の異なる外国籍の児童・生徒たちを温かく教育するという形での日本文化理解教育です。

発信、そういうものを考えております。 なる児童・生徒たちを温かく包み込むような形での日本文化の学ぶ。そういう双方向的、あるいは外国籍の、文化的基盤の異する一方で、逆に外国の児童・生徒の方から、その国の文化を教え合う。日本人の児童・生徒が日本の文化について伝えたりむしろ日本人の児童・生徒と外国籍の児童・生徒がお互いに

夏秋のありがとうございました。

演は終了いたします。永添先生、ありがとうございました。 司会 それでは時間が参りましたので、ここで永添先生の御講